
お年寄りとケータイ

山川流佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お年寄りとケータイ

【Nコード】

N8889J

【作者名】

山川流佳

【あらすじ】

ケータイを使うおばあちゃん達の話。

「何を今さら」って思うかもしれないけど。

ケータイ持っている人、増えたよね。

一人一台どころか、二台、三台と持っていたりする人もいるし。

サラリーマンだけじゃなくなって、小学生からお年寄りまで、幅広い年代で使われるようになったなーと。

特に駅とか電車の中とか。

駅のホームで、電車が来るまでのちょっとした時間に、ケータイを取り出してメールを確認したり。

電車に乗ったら、ポケットやバッグから早速取り出して、ケータイでゲームしたりメールしたり。

ホント、持っていない人っていないんじゃない？ って思うくらい、誰もがケータイ使ってるよね。

2

先日、電車に乗ってた時の話なんだけど。

目の前の座席には、3人のおばあちゃんが座っていて。

半分以上白髪で、ちょっと上品な感じの服装。年は、60〜70歳くらいかなー。

で、そのおばあちゃん達も、バッグからケータイを出してきて、お互いのケータイの画面を見せ合ってたの。

家族からのメールや、孫の写真を見せ合っているみたい。すごく楽しそう。

お年寄りでも、気軽に使えるくらい、ケータイって広まってんだ

いと。

……でもね、シルバーシートでケータイを使うのは、どうかなと思うんだ。

(後書き)

実話を元にして書きました(汗)。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8889j/>

お年寄りとケータイ

2010年10月17日09時17分発行